



三つのペン

羽ばたけ 未来を
生きぬく田上っ子
～目標に向かって考え
高め合う子～

家庭数配付・地域回覧

TEL 0256-57-2017 FAX 0256-57-4641
Eメール:hanyuda-es@edu-niigata.ed.jp
HP: <http://www.hanyudaes.tagami.ed.jp/>



【学校 HP】

「鯨にこめられた想い」

校長 浅野 哲司

11月11日は、羽生田小学校創立記念日です。この日の全校朝会は「創立記念朝会」として、学校の歴史についてお話をしました。特に本校の「宝物」ともいえる鯨（しゃちほこ）について、詳しく話をしました。

現在、入学式や卒業式に飾っている立派な鯨は旧校舎の屋根に上がっていたものです。また、児童玄関に飾られている鯨は、現在の校舎が建てられる際に、当時のPTA会長さんが作り、寄贈してくださったものです。羽生田小学校のシンボルになっているこの鯨は、今でも羽生田小学校の子どもたちを見守ってくれています。

鯨は想像上の生き物ですが、古くから「火災を防ぐ守り神」とされてきました。火の手が上がるのと口から水を吹き出して火を消すという伝説があり、昔から大きなお城や寺院等、木造建築に鯨が飾られることがありました。また、その口の形にも意味があり、雄の鯨の口は「阿（あ）」の形に開いており、もう一方の雌の鯨は「吽（うん）」の形で閉じています。仏教でいう「始まりと終わり」、「呼吸の調和」という意味があり、二体の鯨が火災が起きると最後まで「阿吽の呼吸」で火を消し続けていたという伝説もあります。

私は、創立記念日を迎えるときは、その学校が大切にしてきたものは何かを考えていきたいと思っています。特に羽生田小がここまで鯨を大切にしてきた理由の1つには「互いを大切に思い、阿吽の呼吸で動ける羽生田っ子」であってほしいと先人の願いが込められているように思いました。

新型コロナウイルスが流行して以来、人と人との関係がやや希薄になっているように感じます。「阿吽の呼吸」で動けるようになるには、仲間をよく知り、自分の特徴もよく理解しなければなりません。そのためには、子ども同士の「共体験」をより充実したものにしなければならないと考えています。これからも、地域と教職員、そして子どもたちが一つになって、仲間を大切にする活動を続けていきたいと思いをします。



全校出前授業「絆集会」開催！！～TSUNEIさん来校～

南魚沼出身のシンガーソングライターのTSUNEI様をお招きして、全校児童を対象として校内いじめ見逃しゼロスクール集会を開催しました。まずは、TSUNEI様の生い立ちや経験などをありのままに話していただき、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。「本気で頑張っている人には必ず応援してくれる人がいる！」「辛い・悔しい経験を無駄にしたらもったいない！」「心が折れるくらいなら逃げて、新しいチャンスが見つかるかもしれない！」と、3つのことを教えていただき、夢を持つことの大切さを教えていただきました。最後に2曲歌っていただき、最高のライブになりました。



我が家の約束 入賞者のお知らせ

今年度もたくさんの皆様から「我が家の約束」に三行詩の応募をしていただきました。羽生田小学校からも多くの入賞がありましたので、お知らせいたします。入賞したみなさん、おめでとうございます。

教育長賞	1年 AKさん
佳作	6年 YKさん
佳作	2年 TAさん

特別賞 新潟県PTA連合会入選	4年 KMさん
	3年 KRさん
	2年 TKさん

秋空の下で素敵なお姿を見つけました

11月の終わりの小春日和の日に、グラウンドで1年生と6年生と一緒にサッカーをして遊ぶ姿を見つけました。学校ではおりづる班という1～6年生で構成する班で清掃や遊びをしていますが、休み時間にも異学年のかかわりが見られるようになったことを本当にうれしく思いました。

実は、これまで休み時間のグラウンドでのサッカーは、1つのコートで3つほどの学年がそれぞれの学年同士で遊んでおり、「一緒に遊べるようになるといいな」と思っていたところでした。優しく力強い6年生と果敢に挑んでいく元気な1年生の姿がとても素敵な場面でした。

